

令和元年度 “「長久手市役所の仕事」通知表” の作成（外部評価）①

令和元年 7 月 30 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価① <b>「行政サービスコーナー管理事業」【市民課】</b>
開催日時	令和元年 7 月 30 日（火） 午前 9 時 35 分から午前 10 時 35 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>&lt;外部評価実施者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革推進委員 山本理絵、江頭隆行、細萱健一</li> <li>・外部評価委員 市岡紗理奈、唐田宏樹</li> </ul> <p>&lt;担当課&gt;</p> <p>総務部長 中西直起、市民課長 林 元美、同課係長 粕谷梨江</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	7 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0 5 6 1 - 5 6 - 0 6 0 5
備考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の目標値（市役所閉庁時の証明交付割合）がずっと同じであり、P D C A をまわす上で目標が変わらないことは疑問に思う。目標を高めるような指標を工夫してほしい。</li> <li>・指標について、「時間外」の要素もあるが、他にも地理的な要素などの利便性の観点も考えてほしい。特に文化の家については、コストだけで考えるのではなく、地理的なことで、市民サービスの向上に寄与している部分もあると思う。</li> <li>・他にも郵便申請等も考慮されるとよい。</li> <li>・文化の家での証明書等交付の廃止よりマイナンバーカード（コンビニ交付）の普及が優先と思う。当面は利便性を考えた方がよい。</li> <li>・障がい者や高齢者などの有人対応が必要な場合もあるため、文化の家での証明書等の交付で、どれだけの割合で有人対応が必要な人か分析できるとよい。</li> <li>・費用対効果の数値を持っていない段階で文化の家での証明書等の</li> </ul>
-------------	---

	<p>交付の廃止は時期尚早に思う。分析が必要と思う。意見のしようがない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・少なからず利用者はいること、経年の環境変化もあること等を指標に表し、分析する必要がある。</li><li>・外部評価では、事業を続けるか、廃止するかを判断するのではなく、内部評価について、評価する。</li><li>・「事業の課題」について、『証明書誤交付の防止』は課題ではないと思う。あつてはならないことは課題ではない。</li><li>・Nピアについて、他の事業との連携も模索してほしい。</li></ul>
--	--

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>・成果指標・目標の工夫が必要。特に利便性を考慮した成果指標を考えてほしいが、どこまで、どのような利便性を追求するかは、他の負担と合わせて総合的に検討してほしい。</li><li>・今後の見通しとして、証明書発行以外の情報発信について、工夫してほしい。</li><li>・情報セキュリティ面について、継続的に取りくまりたい。</li><li>・文化の家での証明書等交付の廃止について、外部評価で答えは出せないが、現状分析をされ検討するとよい。</li></ul>
--------	--